

報告第 9 号

一般財団法人調布市武者小路実篤記念館の経営状況について

地方自治法第243条の3第2項の規定により、一般財団法人調布市武者小路実篤記念館の平成25年度収支決算及び平成26年度事業計画を別紙のとおり提出する。

平成26年 6 月 3 日

調布市長 長 友 貴 樹

平成25年度決算報告書及び  
平成26年度事業計画

一般財団法人調布市武者小路実篤記念館

# 目 次

## 平成 2 5 年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館事業報告

1	概要	1
2	事業内容	5
(1)	展示事業	5
(2)	普及事業	5
(3)	資料収集・保存事業	9
(4)	閲覧サービス・情報公開事業	11
(5)	調査・研究事業	11
(6)	物品販売事業	12
(7)	その他事業	12
3	平成 2 5 年度調布市武者小路実篤記念館使用状況	13
(1)	実篤記念館（実篤公園利用者を含む）	13
(2)	旧実篤邸公開	13
4	役員・会議に関する事項	14
(1)	役員名簿（平成 2 6 年 3 月 3 1 日現在）	14
ア	理事及び監事	14
イ	評議員	14
(2)	会議の開催	14
ア	理事会	14
イ	評議員会	15
	平成 2 5 年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館収支計算書	16
	平成 2 5 年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館正味財産増減計算書	18
	平成 2 5 年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館貸借対照表	20
	平成 2 5 年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館財産目録	21
	平成 2 5 年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館財務諸表に対する注記	22
	監査報告書	23

## 平成 2 6 年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館事業計画

1	基本方針	24
2	指定管理者としての基本方針	25
3	実施方針	25
(1)	事業の運営に関する業務	25
(2)	施設の運営に関する業務	26
(3)	施設の管理と整備に関する業務	26
(4)	職員の人材育成	27

4 事業内容	27
(1) 展示事業	27
(2) 普及事業	28
(3) 資料収集・管理事業	31
(4) 資料整理・保存事業	32
(5) 閲覧サービス・情報公開事業	33
(6) 調査・研究事業	34
(7) 自主事業	34
(8) 施設管理運営事業	35
平成26年度調布市武者小路実篤記念館 展覧会概要及び日程	37
平成26年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館収支予算書	41

## 平成25年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館事業報告

### 1 概要

平成25年度は、一般財団法人調布市武者小路実篤記念館（以下「財団」という。）が発足した初年度に当たります。

調布市武者小路実篤記念館の設立理念に基づき、財団の前身である調布市武者小路実篤記念館運営事業団のこれまでの実績と信頼を生かしながら、市民が広く誇り得る文化の拠点の一つとして、身近で、親しみのある教育、芸術・文化の場となるように努め、更に良質で魅力ある事業を展開するとともに、より安定性及び継続性のある効率的な組織・運営体制を構築するよう努めて参りました。

平成25年度、財団では次のとおり事業目標を設定するとともに、組織・運営体制を定めて積極的に事業展開をして参りました。

#### <事業目標>

##### 1 武者小路実篤の顕彰

年8回の展示事業と移動展、武者小路実篤及び周辺資料の積極的な収集、整理、保存及び調査研究を継続的に実施します。

##### 2 実篤記念館のブランド化（日本で唯一の実篤研究の情報収集発信基地）

武者小路実篤の顕彰をベースに、「情報収集発信基地」として機能を充実させ、内外に情報発信できる日本で唯一の「実篤・白樺・新しき村の研究施設」を目指します。

##### 3 次代を担う子どもへのアプローチと利用の拡大

子どもへの積極的な働きかけにより、未来の来館者の育成と郷土愛を育む取組を実施します。

##### 4 実篤記念館と実篤公園を活用した事業展開

実篤記念館及び実篤公園について、より効率的で柔軟な運営体制の構築を目指し、実篤公園を活用した新たな事業展開など、更なる市民サービスの向上を図ります。

#### <組織・運営体制>

1 安定した組織づくり並びに組織の透明性及び信頼性を図るとともに、効率的で効果的な運営に努めます。

2 実篤記念館が目指す将来像（事業目標）を実現するための事業を、継続性をもって実行します。

3 武者小路実篤研究を継続していくために、学芸員を中心とした人材育成を促進します。

4 財団としての自主性を発揮し、事業の幅と奥行きを広げ、良質な市民サービスを提供します。

また、平成26年度から調布市武者小路実篤記念館で指定管理者制度が導入されることとともない、25年度には指定管理者となるべく審査に望んだところ、選定審査委員会及び調布市議会からご同意をいただくことができました。

実施した主な事業につきましては、以下のとおりです。

#### (1) 展示事業

「展示事業」は事業の中心であり、年2回の特別展では、春には「託された思い」～調布市武者小路実篤記念館 所蔵コレクションの歩み～を、秋には「画道精進」～椿貞雄と実篤～を開催し、各方面より好評を得ることが出来、多くの方々にご来館いただきました。

また、5回の企画展では、幅広い武者小路実篤の活動を紹介していくために多角的なテーマを設け、あわせて実篤記念館の充実した収蔵品を紹介し、さらに、調布市文化会館たづくり展示室では、移動展「昭和の生活を彩った懐かしの実篤グッズ展」を開催しました。

年間をとおして、展示や施設に関するアンケートを実施し、来館者の意見を取り入れて満足度の高い事業を提供するべく努めました。

#### (2) 普及事業

「講演会・講座等事業」では、恒例となった「実篤に挑戦」（絵画制作会）や、毎年好評の製本講座、読書会、文学講座、自然観察会等を開催し、内容の充実に努め、武者小路実篤を核とした特色ある事業として幅広い世代に対し、良質な事業を提供し身近で親しみのある教育、文化・芸術の場として、魅力ある事業を実施しました。

「学校教育との連携事業」では、市内小・中学校に実篤に関する資料・情報を提供するとともに、職場体験の受入れなどを引き続き行い、出前講座や見学会、学校図書館での実篤紹介のミニ展示の実施など、協力関係をさらに強めました。

また、実篤記念館が持つ文学、美術、自然、情報など様々な要素を活用して、夏休み企画を中心に小・中学生を対象とした「調べ学習」、「創作」及び「芸術鑑賞」を中心としたキッズプログラムを実施することにより、実篤や記念館に親しむ機会を増やし、子供たちが多様な体験を通して感性を磨き、自身で考える力、豊かな心育む様々な事業を展開しました。

「ボランティア事業」では、新たに武者小路実篤、実篤公園及び旧実篤邸を紹介するガイドボランティアを養成する講座を開講し、下半期には新しいガイド内容で実施し、回数を重ねるごとに利用者の増と事業の周知が図られました。現在、ボランティア活動は、記念館の事業展開に大きな役割を果たし、市民、地域との連携を担う事業となり、さらなる展開のために、活動内容を再検討し、ガイド、普及事業サポート、環境整備、の3グループに分けて事業を進められるよう様々な整備に取り組みました。

「友の会事業」では、実篤記念館と来館者を結ぶものであり、会員の増強と一層の充実に努め、会員に関連情報を提供する友の会ニュースを定期的に発行するほか、地域連携として桐朋学園等の協力を得て実施する観梅の集い（コンサート）に合わせて交流会を実施しました。

また、友の会発足20年を記念して、これまでの活動記録を紹介する「調布市武者小

路実篤記念館「友の会の歩み」を編集・刊行しました。

「ぐるっとパス事業」では、＜東京・ミュージアムぐるっとパス2013＞事業への参加を通して、実篤記念館の活動を周知するとともに、広報の充実に努めました。

「印刷物編集・刊行事業」では、広く武者小路実篤への理解を深めるために特別展、武者小路実篤の活動や所蔵資料を紹介する印刷物を編集・刊行しました。

「広報事業」では、実篤記念館の事業活動をより多くの方々に知っていただくためにホームページの活用をはじめ、各方面への積極的な広報活動を行い、各種取材への対応をしました。ホームページでは、新たな情報を即座にお知らせするコーナーを新設し、情報の周知に努めました。

### (3) 資料収集・保存事業

「収集事業」では、実篤記念館が事業の充実を図るために必要に応じて美術作品、原稿、書簡類、図書など関係資料を収集しており、財団では引き続き収集に関する各種情報を集め実篤記念館へ購入の提案をしました。

「整理・保存事業」では、収集された作品・資料を速やかに整理し、収蔵品データベースへのデータ入力や整備を進め、良好な状態で保存し、後世に貴重な作品・資料を伝えるように努めました。さらに、収蔵作品・資料の適切な保存・管理を図るために、保存・記録作業のほか、作品修復、資料の複製制作を計画的に実施しました。

また、作品・資料の保存のために、平成25年度は収蔵庫の燻蒸作業と空調の改修工事が行われ、財団は業務に際して、作品・資料の状態を把握するとともに、より効果的に業務が進められるように協力しました。

### (4) 閲覧サービス・情報公開事業

「閲覧サービス事業」では、開架図書を中心とする一般閲覧業務、レファレンス業務のほか、展覧会や事業にあわせた図書紹介など、資料の活用促進を図り、利用者の窓口としてサービスの充実に努めました。

また、閉架図書や貴重な作品・資料の閲覧・レファレンス業務の特別閲覧業務では、専門的で高度な質問や閲覧にも対応しました。

「情報公開事業」では、コンテンツや情報の充実に努め収蔵品情報やより多くの方々に事業や実篤関連情報、事業記録など知っていただくために、収蔵品データベースをはじめとする情報提供システムの運用を引き続き進めました。

平成25年度は情報提供システム（収蔵品データベース、来館者利用情報閲覧システム、映像視聴システム）機器の全面入替にともない、システムのリニューアル作業に取り組み、新メニューとして「写真と映像でみる仙川の家」を増やしたほか、システム全般にわたり操作方法や操作画面等のデザインを一新し、また、タブレット端末の導入、データベースの検索機能の向上等の作業を実施し、武者小路実篤に関する多くの情報をより分かりやすく手軽に利用できるようにしました。

### (5) 調査・研究事業

「調査・研究事業」では、特別展関連及び収蔵資料の調査を実施し、これまでの調査で得た情報を活用し、他の文学館、美術館や研究機関との協力を得ながら、「武者小路実篤、白樺、新しき村」に関する情報センターとしての役割を担うべく、調査・研究活動を進めました。

特別展の実施に伴い、船橋市が所蔵する白樺同人の椿貞雄や武者小路実篤の作品・資料の全件調査、佐久市立近代美術館所蔵の武者小路実篤絵画の調査をはじめ、その成果は展覧会及びパンフレットへの発表、情報の記録作業を行いました。

また、収蔵する実篤及び白樺同人関係資料の調査として河野通勢旧蔵の作品、資料の整理及び調査を引き続き実施したほか、武者小路実篤書簡及び宛書簡の翻刻、著作データ及び主宰雑誌の目次データの整備を引き続き進めました。

#### (6) 物品販売事業

「物品販売事業」では、ミュージアムグッズの販売をとおして、広く実篤作品の魅力や実篤記念館の活動の周知と認知度を高め、自主財源を増やすとともに、特別会計を設け会計の透明化を図りました。

その収益は、自主事業（朗読会、講座など）の充実や、魅力あるミュージアムグッズづくりにあて、普及事業の更なる充実をサポートしました。

新商品として実篤手拭い（復刻版）をはじめ6種のグッズを作成し、移動展やバレンタインシーズンのチョコレート販売などで好評を得ました。

#### (7) その他事業

「自主事業」では、自主財源を確保するために、記念館隣接道路に設置された案内掲示板の広告料収入を得たほか、朗読会を自主事業として開催し、事業の充実が望まれる講座については、参加者に応分の負担をしていただく運営方法で取り組みました。また、写真貸出や特別撮影への対応を行いました。

#### (8) 平成25年度の総括

平成25年度は財団が発足した初年度であることから、前身の事業団から財団へ業務をスムーズに移行し、組織・運営体制の確立を図ることに努めました。また、事業を継続していくために、学芸員を中心とした人材育成を促進しました。

事業全般にわたり「敷居は低く（気軽に参加）、間口は広く（幅広いジャンルからのアプローチ）、奥行きは深く（専門的な内容にも対応）」を指針として、展示事業を中心に「何度でも来たくなる実篤記念館」を目指した事業を展開し、普及事業では、新たな取り組みとして、学校教育との連携を促進し、出前講座や学校図書館での展示活動、調べ学習でのプログラムの充実を図ったほか、ボランティア事業ではガイドボランティア活動を始め、利用者より好評を得ることができました。

平成25年度の大きな事業としては、2年間にわたり進めてきた情報提供システムのリニューアルを完了し、新しいメニューや機能を加え、実篤記念館が持つ多くの情報を一層広く公開し、利便性の向上を図り、今後もさらに武者小路実篤に関する情報収集発信基地としての役割を果たして参ります。

平成26年度から、実篤記念館で指定管理者制度が導入されることに伴い、当財団は、平成25年度は指定管理者となるべく、その準備に当たりました。その結果、指定管理者に選定され、今後は、これまでの事業運営に加え、施設の管理運営も担うこととなります。記念館と実篤公園を一体的に管理運営することで、施設の機能を十分活かした魅力ある事業展開と効率的・効果的な運営を進めて参ります。



## 2 事業内容

### (1) 展示事業

事業名	実施日	入場者	備考
春季展「ポスターに見る実篤文学作品」	平成25年3月9日～ 4月14日	大人354人、子ども13人 計367人	32日 (4月分のみ)
春の特別展「託された思い」 ～調布市武者小路実篤記念館所蔵コレ クションの歩み～	平成25年4月27日～ 6月2日	大人1,545人、子ども66人 計1,611人	32日
夏休み企画展「もっと知りたい 武者小路実 篤」	平成25年7月2日～ 9月1日	大人1,077人、子ども228人 計1,305人	54日
秋季展「新しき村 創立95年」	平成25年9月7日～ 10月14日	大人717人、子ども57人 計774人	33日
移動展「昭和の生活を彩った 懐かしの実篤 グッズ展」	平成25年10月12日～ 11月10日	大人・子ども 合計2,029人	28日 たづくり展示室
秋の特別展「画道精進」～椿貞雄と実篤～	平成25年10月26日～ 12月1日	大人1,056、子ども26人 計1,082人	32日
企画展「山と対峙する」～風景画～	平成25年12月14日～ 平成26年1月19日	大人449人、子ども126人 計575人	27日
企画展「『真理先生』の世界」	平成26年1月25日～ 3月2日	大人461人、子ども62人 計523人	32日
春季展「実篤の眼 人間を描く」 ～愛蔵品と作品から～	平成26年3月8日～ 4月13日	大人491人、子ども172人 計663人	24日 (3月分のみ)

### (2) 普及事業

#### ア 講演会・講座等事業

事業名	講師	開催日	会場	参加者
展示解説 春季展「ポスターに見る実篤 文学作品」	財団職員	平成25年4月7日	実篤記念館	12人
初夏の自然観察会	富田 広	平成25年4月13日	実篤公園と周 辺緑地	15人
「ガイドボランティア養成講座」 (全6回) 第1回、第2回、第3回、 第4回	財団職員	平成25年5月9日・ 23日、6月6日・ 20日	実篤記念館	延べ49人
読書講座「原田宗典、武者小路実篤を朗 読する」(全3回)	原田 宗典	平成25年5月18日・ 25日、6月1日	東部公民館	延べ43人
展示解説 春の特別展「託された思い」 ～調布市武者小路実篤記念館 所蔵コ レクションの歩み～	財団職員	平成25年5月26日	実篤記念館	21人
「作ってみよう!梅ジャム」	財団職員	平成25年6月8日・ 9日	実篤記念館 東部公民館	延べ43人
「ガイドボランティア養成講座」	小出 仁志	平成25年7月7日	実篤公園	11人

第5回～実篤公園の自然～				
「ガイドボランティア養成講座」 第6回～ガイド ワークショップ～	財団職員	平成25年7月18日	実篤記念館 実篤公園	11人
「もっと知りたい！ 夏休みサポート」 (6日間開催)	財団職員 ボランティア	平成25年7月25日, 8月1日・8日・15 日・22日・29日	実篤記念館	46人
「作ってみよう！私だけの本」 (全3回)	田尾 明敏 岡野 暢夫	平成25年8月3日・ 4日・9日	実篤記念館 東部公民館	延べ70人
「実篤に挑戦！～筆と墨で絵をかこう～」	財団職員	平成25年8月16日 ・17日	実篤記念館	85人
「実篤に挑戦！ 特別篇～うちに筆と墨で絵をかこう～」(2回実施)	菱沼 陽士女(ひとめ)	平成25年8月18日	実篤記念館	27人
展示解説「もっと知りたい 武者小路実篤」	財団職員	平成25年8月26日	実篤記念館	22人
読書講座「『愛慾』を読む」	瀧田 浩	平成25年9月14日	東部公民館	8人
仙川歴史散歩	山岡 博	平成25年9月19日	緑ヶ丘周辺	16人
展示解説 秋季展「新しき村 創立95年」	財団職員	平成25年9月29日	実篤記念館	13人
移動展記念講演会「武者小路実篤の素朴絵」	矢島 新	平成25年10月14日	文化会館 たづくり	12人
移動展「昭和を彩った懐かしの実篤グッズ展」ギャラリートーク	財団職員	平成25年10月27日	文化会館 たづくり	9人
淡彩画ワークショップ～実篤のように絵を描こう～	田尾 明敏	平成25年11月4日	文化会館 たづくり	25人
展示解説 秋の特別展「画道精進～椿貞雄と実篤～」	財団職員	平成25年11月16日	実篤記念館	16人
秋の自然観察会	富田 広	平成25年11月23日	実篤公園	22人
展示解説 企画展「山と対峙する」～風景画～	財団職員	平成26年1月13日	実篤記念館	8人
製本講座中級編(2回連続)	岡野 暢夫	平成26年1月29日, 2月5日	東部公民館	延べ28人
展示解説 企画展「『真理先生』の世界」	財団職員	平成26年2月15日	実篤記念館	2人
美術講座(2回連続)「岸田吟香・劉生・麗子 知られざる精神の系譜」展	財団職員	平成26年2月13日 ・20日	実篤記念館 世田谷美術館	延べ43人
観梅の集い観梅の調べコンサート ※地域連携事業	山本明由子, 門伝良男, 芝道香, 桐朋学園大学生	平成26年2月23日	実篤記念館	56人
親子講座「作ってみよう！植物で布を染める」	松田 研二	平成26年3月30日	実篤公園 東部公民館	17人
木島平村教育委員会視察 解説	財団職員	平成25年7月2日	実篤記念館 実篤公園	9人

団体解説（予約制）	財団職員	年間10回	実篤記念館	延べ152人
-----------	------	-------	-------	--------

イ 学校教育との連携事業

(ア) 学校教育

事業名	開催日	会場	連携・協力団体	参加者
実篤公園 見学	平成25年4月10日	実篤公園	桐朋学園女子高等学校（3年生）	42人
実篤公園 見学	平成25年4月10日・ 12日, 5月8日	実篤公園	桐朋学園女子高等学校（1年生）	104人
実篤公園 見学	平成25年4月12日	実篤公園	桐朋学園女子高等学校音楽科 （1年生）	39人
実篤公園 見学	平成25年4月12日	実篤公園	桐朋学園芸術短期大学（1年生）	17人
実篤公園 見学	平成25年5月26日	実篤公園	若葉小学校（2年生）	92人
地域安全マップ作成 インタビュー	平成25年5月30日	実篤記念館	若葉小学校（4年生）	22人
実篤公園 写生	平成25年6月5日・ 7日・18日	実篤公園	若葉小学校（5年生）	109人
職場体験	平成25年7月2日～ 5日	実篤記念館	調布市立調布中学校（2年生）	4人
授業利用	平成25年7月19日	実篤記念館	桐朋学園芸術短期大学演劇科	19人
児童作品展示 （実篤公園写生）	平成25年7月31日～ 8月15日	実篤記念館	調布市立若葉小学校（5年生）	40人
職場体験	平成25年9月10日～ 13日	実篤記念館	調布市立第四中学校（2年生）	3人
施設訪問, 見学	平成25年9月12日	実篤記念館	府中市立府中第二中学校（1年生）	12人
総合的な学習 「郷土に学ぶ」	平成25年9月27日	実篤記念館	八王子市立打越中学校（1年生）	7人
調布調べ	平成25年9月27日	実篤記念館	調布市立第七中学校（1年生）	10人
実篤公園散策	平成25年10月5日	実篤公園	東京農工大学	17人
展覧会見学	平成25年10月17日	実篤記念館	桐朋学園大学	23人
実篤公園散策	平成25年11月6日	実篤公園	調布市立若葉小学校（2年生）	92人
展覧会見学	平成25年12月18日～ 20日	実篤記念館	調布市立若葉小学校（4年生）	115人
校内展示 「実篤の人と作品」	平成25年12月10日～ 20日	調布市立第六 中学校図書室	調布市立第六中学校	
職場訪問	平成26年1月25日	実篤記念館	府中市立浅間中学校（1年生）	5人
調布調べ	平成26年2月11日～ 22日	実篤記念館	調布市立若葉小学校（3年生）	延べ20人
卒業年次生のための 武者小路実篤講座・ 見学	平成26年3月11日	調布市立第四 中学校, 実篤 記念館	調布市立第四中学校（3年生）	144人

校内展示 「実篤の人と作品」	平成26年1月9日～ 2月28日	調布市立第四中 学校図書室	調布市立第四中学校	
-------------------	---------------------	------------------	-----------	--

(イ) 実習生受入

事業名	実施期間	場所	参加者
ドナルド・キーンセンター学芸員研修	平成25年7月2日～11日	実篤記念館	1人
博物館実習（お茶の水女子大学，駒澤大学）	平成25年8月2日～9日	実篤記念館	2人
インターシップ（跡見学園女子大学）	平成25年8月14日～24日	実篤記念館	1人
東京都公立学校教員10年経験者研修 （調布市立調布中学校）	平成25年8月14日	実篤記念館	1人
東京都公立学校教員10年経験者研修 （調布市立神代中学校）	平成25年8月21日	実篤記念館	1人

(ウ) 講師派遣

事業名	講師	開催日	会場	テーマ	参加者
若葉小学校地区協議会 講座・見学	財団職員	平成26年1月14日	東部公民館，実篤 公園，実篤記念館	武者小路実篤	55人
明大リバティアカデミー 「ア・ミュージアム『知』 の玄関への招待」	財団職員	平成26年1月29日	実篤記念館	武者小路実篤 の作品と人物 に親しむ	15人

ウ ボランティア事業

ボランティア登録者 31人

活動内容	活動日数	参加者
収蔵資料・寄贈カタログ等資料整理，ポスター・チラシ等発送，開催事業 補助作業，ボランティア研修会，ボランティア会議，植物ボランティア， ガイド関連作業等	77日	243人
ボランティアガイドツアー	20日	239人

エ 友の会事業

平成25年度友の会会員数75人（賛助会員：8人、一般会員67人）

平成26年3月31日現在

事業名	内容	発行日・開催日	会場	参加者
友の会ニュース発行	事業や実篤関連情報を提供	年6回（隔月発行）		
友の会交流会	映像「実篤の文学作品に親しむ 真 理先生」の上映と解説，会員の懇談	平成26年2月23日	東部公民館	56人

オ ぐるっとパス事業

事業名	内容	件数等
ぐるっとパス2013年広報	ぐるっとパス2013年ポスター・チラシへの情報の提 供と，参加館や公共交通機関等で掲示・配布	年間3件

	新聞, 雑誌, テレビ, WEB等での掲載	年間46件
ぐるっとパス2013利用者	ぐるっとパス2013年の利用者数	532人
ぐるっとパス2013販売数	ぐるっとパス2013年の窓口販売数	8件

#### カ 印刷物編集・刊行事業

資料名	種別	対象	発行	部数	備考
春の特別展パンフレット 「託された思い」	図録	一般	平成25年4月	1,500部	有償頒布
解説シート「もっと知りたい」 43～45号	解説シート	一般 子ども	平成25年7月	各5,000部	無料配布
記念館館報「美愛眞」第25号	館報	一般	平成25年9月	3,000部	無料配布
秋の特別展パンフレット 「画道精進～椿貞雄と実篤」	図録	一般	平成25年10月	1,000部	有償頒布
「調布市武者小路実篤記念館 友の会の歩み」	冊子	一般	平成26年2月	300部	無料配布
記念館館報「美愛眞」第26号	館報	一般	平成26年3月	3,000部	無料配布
平成26年度版 展示案内	パンフレット	一般	平成26年3月	20,000部	無料配布

#### キ 広報事業

事業内容	対象	件数
広報リリース作成, 情報提供	新聞社, テレビ局, インターネット情報サイト	30件
取材対応	新聞社, テレビ局, 出版社, インターネット情報サイト	95件
事業広報用ポスター作成, 掲示	一般	92件
ホームページ(毎月更新) ～事業告知, 所蔵品データベース, キッズコーナー, 資料データ, 財団情報公開等～	一般	年間アクセス数 1,798,314件

### (3) 資料収集・保存事業

#### ア 収集

資料区分	寄贈	購入	寄託	合計
美術品	1点	0点	0点	1点
図書・雑誌	124点	162点	0点	286点
関連作品・資料	0点	0点	0点	0点
原稿	5点	0点	0点	5点
書簡	1点	0点	0点	1点
写真	14点	15点(複写)	0点	29点
映像資料	0点	1点(制作)	0点	1点
(総計)	145点	178点	0点	323点

※平成26年3月末現在の収藏品点数 51,842点

イ 整理・保存

作業区分	内容	作業件数	備考
資料整理	所蔵品及び関連資料の写真整理・写真複写	資料 6,332件	
	河野通勢下絵図整理	作品・資料446件	
	資料リスト作成	資料216件	
所蔵リスト照合	全件リストと現物の照合作業	資料27,048件	
	全件リストと所蔵品カードの照合作業	資料2,773件	
	全件リストに照合記録記載	資料10,69件	
資料撮影	特別展2回, 収蔵作品・資料1回 実篤関連作品、資料の撮影	作品・資料 269件	
保存	図書保存箱作成	保存箱100件	
	美術作品保存箱作成	保存箱 2 件	
	中性紙額保存箱作成	保存箱16件	
	武者小路実篤作品ほか額作成	額 2 件	
収蔵庫燻蒸	収蔵庫燻蒸にともなう準備, 終了後の作業 に協力		
収蔵庫空調改修工事 にともなう作業	武者小路実篤作品・資料の一時保管, 移動 作業に協力	一時保管698件 移動1800件	平成26年1月30日 ～2月28日

ウ 所蔵作品・資料等の修復, 複製制作等

作業区分	内容	作業件数	備考
修復	武者小路実篤「富士」修復	美術品 1 件	
複製	武者小路実篤『湖畔の画商』（「一個の 人間」）原稿2か所 複製作成	原稿 2 件	

エ 収藏品データベースの充実

作業区分	内容	作業件数	備考
収藏品データベースデー タ整備	収藏品データベース（データの追加, 修 正作業）	資料1,859件	
	収藏品データベース（データとカードの 照合作業）	資料7,578件	
	データ照合チェックリスト作成	資料10,234件	
	チェックリスト照合	資料7,369件	
	未入力データ入力	資料57件	
収藏品データベース登録 件数	平成26年3月末データベース登録件数	36,785件	
収藏品データベース利用 件数	平成25年度データベース利用件数 （新システム移行後）	582,841件	平成25年12月10日 ～26年3月31日

(4) 閲覧サービス・情報公開事業

ア 閲覧サービス事業

項目	開室日数	利用者数			レファレンス受付件数		
		閲覧室利用者	情報提供システム	収蔵品検索システム	カウンター受付	電話, Eメール等受付	小計
平成25年4月～6月	60日	1,474人	392人	45人	414件	65件	479件
平成25年7月～9月	63日	794人	277人	23人	206件	42件	248件
平成25年10月～12月	65日	912人	310人	16人	300件	47件	347件
平成26年1月～3月	61日	769人	376人	49人	209件	28件	237件
計	249日	3,949人	1,355人	133人	1,129件	182件	1,311件
前年度	259日	3,856人	1,085人	155人	686件	233件	919件

イ 情報公開事業

事業区分	事業内容	実施時期
情報提供システムの運用	コンテンツの充実, 機器の保守監理, 運用促進	随時
情報提供システムリニューアル	機器の入替, 新たにタブレット端末の導入, システム全般の入替作業	平成25年12月
	システム操作方法, 操作画面等のデザインを一新	平成25年12月
	新メニュー「写真と映像でみる仙川の家」の追加	平成25年12月
	データベースの検索機能の向上	平成26年3月

(5) 調査・研究事業

調査名	調査内容	調査場所	件数
秋の特別展準備/ 船橋市所蔵椿貞雄作品調査	船橋市所蔵椿, 実篤関連作品・資料全件調査	船橋市所蔵作品 収蔵先	48件
秋の特別展準備/神奈川近代文学館所蔵 椿貞雄作品調査	神奈川近代文学館所蔵 椿作品の全件調査	神奈川近代文学館	6件
秋季展準備/国会図書館資料調査	新しき村記録調査	国会図書館	300件
所蔵原稿調査	所蔵原稿の記載内容の確認調査	実篤記念館	103件
河野通勢挿絵下図資料調査 (平成26年度移動展準備)	収蔵河野通勢の未整理挿絵下図調査	実篤記念館	871件
平成26年度春の特別展準備/佐久市立近代美術館所蔵作品リスト確認	佐久市立近代美術館提供の作品リストと発行印刷物図版よりの確認調査	実篤記念館	45件

平成26年度特別展準備/ 国会図書館資料調査	美術年鑑等の掲載データ調査	国会図書館	250件
---------------------------	---------------	-------	------

(6) 物品販売事業

事業内容	日	制作数	備考
手拭い 新規制作	平成25年10月	100枚	若葉町秋祭り手拭い 復刻
メモ帳 新規制作	平成25年10月	1,000冊	
しおり（5種）新規制作	平成25年10月	計6,000枚	
トートバック 新規制作	平成25年10月	300枚	
2014年版限定チョコレート（2種）新規制作	平成26年1月	計2,498個	
2014年限定榮太郎飴 新規制作	平成26年2月	1,000個	

(7) その他事業

ア 資料貸出・特別撮影等

種別	件数	点数	主な利用内容	期間
作品・資料貸出	5件	35点	鹿沼市立川上澄生美術館 「川上澄生の平峯劉吉時代-岸田劉生に憧れた青春-」展 貸出資料7点	平成25年7月11日 ～8月30日
			宮城県立美術館ほか3館 「洲之内徹と現代画廊-昭和を生きた目と精神-」展 貸出美術品2点	平成25年10月15日 ～平成26年6月22日
			三重県立美術館「ア・ターナブル!-ごはんだよ! 食をめぐる美の饗宴-」展 貸出美術品1点	平成26年2月14日 ～5月30日
			世田谷美術館ほか1館 「岸田吟香・劉生・麗子-知られざる精神の系譜」展 貸出美術品等計23点	平成26年1月25日 ～6月20日
			そごう美術館ほか1館 「黒田辰秋の世界」展 貸出美術品2点	平成26年1月20日 ～7月25日
写真資料貸出	22件	41点	TV「世界の名画」, 世田谷美術館, 教科書教材ほか	
特別撮影	2件	6点	そごう美術館ほか展覧会用	

イ 広告料の確保

事業名	場所	開催日	件数
案内看板の広告	実篤記念館東ロータリー側	平成25年4月1日～26年3月31日	2件

ウ 自主事業

事業名	講師	開催日	会場	参加者
朗読会「実篤を聴く Part11」 「馬鹿一」, 絵を描くエッセイを朗読	川和 孝ほか	平成25年10月20日	文化会館たづくり 映像シアター	39人



3 平成25年度 調布市武者小路実篤記念館使用状況

平成26年3月31日 現在

下段の数字は前年度

(1) 実篤記念館(実篤公園利用者を含む)

月	大人(人)	内 入館	子供(人)	内 入館	計(人)	内 入館	累計(人)	内 入館	開館(日)	備 考
4月	2,423	674	615	26	3,038	700	3,038	700	25	春季展 「ポスターに見る実篤文学作品」 (3月9日～4月14日)
	2,839	902	801	46	3,640	948	3,640	948	26	
5月	3,117	1,273	915	50	4,032	1,323	7,070	2,023	27	春の特別展「託された思い」 (4月27日～6月2日)
	2,686	1,050	671	22	3,357	1,072	6,997	2,020	26	
6月	2,963	601	581	24	3,544	625	10,614	2,648	16	夏休み企画展 「もっと知りたい武者小路実篤」 (7月2日～9月1日)
	1,934	687	530	130	2,464	817	9,461	2,837	26	
小計	8,503	2,548	2,111	100	10,614	2,648	—	—	68	
	7,459	2,639	2,002	198	9,461	2,837	—	—	78	
7月	1,408	501	264	45	1,672	546	12,286	3,194	26	秋季展「新しき村 創立95年」 (9月7日～10月14日)
	1,390	510	323	88	1,713	598	11,174	3,435	26	
8月	1,289	559	393	182	1,682	741	13,968	3,935	27	移動展「実篤グッズ」 (10月12日～11月10日)
	1,032	419	405	172	1,437	591	12,611	4,026	27	
9月	1,386	496	312	46	1,698	542	15,666	4,477	25	秋の特別展「画道精進」 (10月26日～12月1日)
	1,245	452	282	30	1,527	482	14,138	4,508	26	
小計	4,083	1,556	969	273	5,052	1,829	—	—	78	
	3,667	1,381	1,010	290	4,677	1,671	—	—	79	
10月	1,753	541	280	14	2,033	555	17,699	5,032	27	企画展「真理先生の世界」 (平成26年1月25日～3月2日)
	1,762	565	466	39	2,228	604	16,366	5,112	26	
11月	2,480	825	663	23	3,143	848	20,842	5,880	26	春季展「実篤の眼 人間を描く」 (平成26年3月8日～4月13日)
	2,200	766	450	33	2,650	799	19,016	5,911	26	
12月	1,802	363	516	120	2,318	483	23,160	6,363	24	
	1,416	369	469	7	1,885	376	20,901	6,287	24	
小計	6,035	1,729	1,459	157	7,494	1,886	—	—	77	
	5,378	1,700	1,385	79	6,763	1,779	—	—	76	
1月	1,807	485	438	21	2,245	506	25,405	6,869	24	
	1,351	358	355	13	1,706	371	22,607	6,658	24	
2月	1,213	323	406	49	1,619	372	27,024	7,241	24	
	1,690	624	360	30	2,050	654	24,657	7,312	24	
3月	2,021	518	719	175	2,740	693	29,764	7,934	26	
	2,291	585	680	38	2,971	623	27,628	7,935	27	
小計	5,041	1,326	1,563	245	6,604	1,571	—	—	74	
	5,332	1,567	1,395	81	6,727	1,648	—	—	75	
合計	23,662	7,159	6,102	775	29,764	7,934	—	—	297	
	21,836	7,287	5,792	648	27,628	7,935	—	—	308	
月平均	1,972	597	508	64	2,480	661	—	—	25	
	1,820	607	483	54	2,302	661	—	—	26	
日平均	80	24	20	3	100	27	—	—	—	
	71	24	19	2	90	26	—	—	—	

○ ぐるっとバス(東京の美術館・博物館等共通入場券)利用者数:532人

(2) 旧実篤邸公開

項目	公開日数(日)	利用者数(人)
4月～6月	26	1,958
7月～9月	26	834
10月～12月	24	1,135
1月～3月	20	932
計	96	4,859
前年度	103	4,929

#### 4 役員・会議に関する事項

##### (1) 役員名簿（平成26年3月31日現在）

###### ア 理事及び監事

役員名	氏名
理事長	福田 宏
常務理事	塚越 博道
理事	宇津木 光次郎
理事	花角 美智子
理事	高野 千尋
理事	小塚 美江
監事	新井 七吾
監事	小柳 栄

###### イ 評議員

氏名
武者小路 知行
浅井 京子
瀧田 浩
小西 聡
新井 富一

##### (2) 会議の開催

###### ア 理事会

開催年月日	件名	議決結果
平成25年5月1日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定時評議員会へ提出する理事候補者について</li> <li>・ 定時評議員会へ提出する理事候補者について</li> <li>・ 定時評議員会へ提出する監事候補者について</li> <li>・ 平成25年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館事業計画について</li> <li>・ 平成25年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館予算について</li> <li>・ 調布市議会への経営状況報告について</li> </ul>	可決 可決 可決 報告 報告 報告
平成25年11月19日 (火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調布市武者小路記念館指定管理者候補者の決定について</li> <li>・ 一般財団法人調布市武者小路実篤記念館基本財産の管理及び運用について</li> </ul>	報告 報告
平成26年3月27日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定時評議員会へ提出する理事候補者について</li> <li>・ 定時評議員会へ提出する理事候補者について</li> <li>・ 定時評議員会へ提出する理事候補者について</li> <li>・ 平成26年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館事業計画(案)について</li> <li>・ 平成26年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館予算(案)について</li> </ul>	可決 可決 可決 承認 承認

イ 評議員会

開催年月日	件名	議決結果
平成25年5月1日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 議事録署名人の選出について</li> <li>・ 理事の選任について</li> <li>・ 理事の選任について</li> <li>・ 監事の選任について</li> <li>・ 平成25年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館事業計画について</li> <li>・ 平成25年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館予算について</li> <li>・ 調布市議会への経営状況報告について</li> </ul>	承認 可決 可決 可決 報告 報告 報告
平成25年11月19日 (火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 議事録署名人の選出について</li> <li>・ 調布市武者小路記念館指定管理者候補者の決定について</li> <li>・ 一般財団法人調布市武者小路実篤記念館基本財産の管理及び運用について</li> </ul>	承認 報告 報告
平成26年3月27日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 議事録署名人の選出について</li> <li>・ 理事の選任について</li> <li>・ 理事の選任について</li> <li>・ 監事の選任について</li> <li>・ 平成26年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館事業計画について</li> <li>・ 平成26年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館予算について</li> </ul>	承認 可決 可決 可決 報告 報告

平成25年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館

収支計算書

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

I 事業活動収支の部

(事業活動収入)

(単位：円)

科 目		予算額	決算額	差異	備 考
大	中				
1	基本財産運用収入	1,000	569	431	
	1 基本財産運用収入	1,000	569	431	
2	補助金収入	52,265,000	52,265,000	0	
	1 人件費補助金収入	46,630,000	46,630,000	0	
	2 事務費補助金収入	5,635,000	5,635,000	0	
3	受託事業収入	24,887,000	24,887,000	0	
	1 普及促進委託料	11,070,000	11,070,000	0	
	2 運営委託料	13,817,000	13,817,000	0	
4	雑収入	149,000	150,000	△ 1,000	
	1 雑収入	149,000	150,000	△ 1,000	
5	自主事業収入	4,810,000	4,915,261	△ 105,261	
	1 独自事業収入	220,000	179,655	40,345	
	2 物品販売事業収入	4,100,000	3,820,515	279,485	
	3 雑収入	480,000	914,450	△ 434,450	
	4 預金利子	10,000	641	9,359	
収入計 (A)		82,112,000	82,217,830	△ 105,830	

(事業活動支出)

(単位：円)

科 目		予算額	決算額	差異	備 考
大	中				
1	管理費支出	52,265,000	51,718,846	546,154	
	1 管理人件費支出	46,630,000	46,262,712	367,288	
	2 管理事務費支出	5,635,000	5,456,134	178,866	
	報酬	698,837	630,000	68,837	
	旅費	50,000	2,920	47,080	
	一般需要費	497,680	497,680	0	
	食料費	7,000	6,610	390	
	役務費	424,000	372,941	51,059	
	委託料	1,634,491	1,634,491	0	
	使用料及び賃借料	1,890,627	1,890,627	0	
	交際費	25,750	25,750	0	
	租税公課	353,615	353,615	0	
	負担金	53,000	41,500	11,500	

2	受託事業費支出	24,887,000	24,104,217	782,783	
	1 普及促進委託費支出	11,070,000	10,504,102	565,898	
	2 運営委託費支出	13,817,000	13,600,115	216,885	
3	返還金	150,000	1,478,937	△ 1,328,937	
	1 返還金	150,000	1,478,937	△ 1,328,937	
4	自主事業支出	4,760,000	3,814,488	945,512	
	1 積立金	10,000	0	10,000	
	2 独自事業支出	565,379	565,379	0	
	3 物品販売事業支出	4,184,621	3,249,109	935,512	
	支出計 (B)	82,062,000	81,116,488	945,512	
	収支差額 (C) 《(A) - (B)》	50,000	1,101,342	△ 1,051,342	

## II 投資活動収支の部

(投資活動支出)

(単位：円)

科 目		予算額	決算額	差異	備考
大	中				
1	投資活動収入	0	0	0	
2	投資活動支出	0	3,000,000	△ 3,000,000	
	1 基本財産取得支出	0	3,000,000	△ 3,000,000	
	投資有価証券取得支出	0	3,000,000	△ 3,000,000	
	2 財務活動支出計	0	0	0	
	投資活動支出計	0	3,000,000	△ 3,000,000	
	投資活動収支差額 (D)	0	△ 3,000,000	3,000,000	

## III 財務活動収支の部

(単位：円)

科 目		予算額	決算額	差異	備考
大	中				
1	財務活動収入	0	3,000,000	△ 3,000,000	
	1 基本金受入収入	0	3,000,000	△ 3,000,000	
	財務活動収入計	0	3,000,000	△ 3,000,000	
2	財務活動支出	0	0	0	
	財務活動収支差額 (E)	0	3,000,000	△ 3,000,000	

## IV 予備費支出

(単位：円)

1	予備費支出	50,000	0	50,000	
	1 予備費支出 (F)	50,000	0	50,000	

(単位：円)

当期収支差額 (C+D+E-F)	0	1,101,342	△ 1,101,342	
前期繰越収支差額	0	0	0	
次期繰越収支差額	0	1,101,342	△ 1,101,342	

## 正味財産増減計算書

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

事業全体

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
1 経常収益			
基本財産運用益	569		
基本財産受取利息	569		
補助金収入	52,265,000		
人件費補助金収入	46,630,000		
事務費補助金収入	5,635,000		
受託事業収入	24,887,000		
普及促進委託料	11,070,000		
運営委託料	13,817,000		
雑収入	150,000		
雑収入	150,000		
自主事業収入	4,915,261		
独自事業収入	179,655		
物品販売事業収入	3,820,515		
雑収入	914,450		
預金利子	641		
経常収益計 (A)	82,217,830		
2 経常費用			
管理費	51,718,846		
人件費支出	46,262,712		
管理事務費支出	5,456,134		
報酬	630,000		
旅費	2,920		
一般需要費	497,680		
食料費	6,610		
役務費	372,941		
委託料	1,634,491		
使用料及び賃借料	1,890,627		
交際費	25,750		
租税公課	353,615		
負担金	41,500		
事業費	27,918,705		
受託事業費	24,104,217		
普及促進委託費支出	10,504,102		
運営委託費支出	13,600,115		
自主事業費	3,814,488		
積立金	0		

		独自事業支出	565,379		
		物品販売事業支出	3,249,109		
		その他経常費用	1,478,937		
		市返還金支出	1,478,937		
		経常費用計 (B)	81,116,488		
		当期経常増減額 (C) 《(A) - (B)》	1,101,342		
	2	経常外増減の部			
	1	経常外収益	0		
		経常外収益	0		
	2	経常外費用	0		
		経常外費用	0		
		当期経常外増減額	0		
		当期一般正味財産増減額	1,101,342		
		一般正味財産期首残高	0		
		一般正味財産期末残高 (D)	1,101,342		
II		指定正味財産増減の部			
		当期指定正味財産増減額	0		
		指定正味財産期首残高	0		
		指定正味財産期末残高 (E)	0		
III		基本金増減の部			
		基本金受入額	3,000,000		
		当期基本金増減額	3,000,000		
		基本金期首残高	0		
		基本金期末残 (F)	3,000,000		
IV		正味財産期末残高 (G) 《(D) + (E) + (F)》	4,101,342		

## 貸借対照表

平成26年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1 流動資産			
1 現金預金			
普通預金	21,573,782		
2 未収金	821,900		
3 商品	933,771		
流動資産合計	23,329,453		
2 固定資産			
1 基本財産			
投資有価証券	3,000,000		
基本財産合計	3,000,000		
2 その他固定資産			
リース資産	12,844,885		
その他固定資産合計	12,844,885		
固定資産合計	15,844,885		
資産合計	39,174,338		
II 負債の部			
1 流動負債			
1 未払費用	20,452,003		
2 預り金	1,776,108		
3 リース債務	12,844,885		
流動負債合計	35,072,996		
負債合計	35,072,996		
III 正味財産の部			
1 基本金			
1 基本金	3,000,000		
2 一般正味財産			
1 その他正味財産	1,101,342		
一般正味財産合計	1,101,342		
正味財産合計	4,101,342		
負債及び正味財産合計	39,174,338		



財 産 目 録

平成26年3月31日現在

(単位：円)

科 目		金 額	
<b>I 資産の部</b>			
1 流動資産			
1 現金預金		21,573,782	
普通預金	三井住友銀行 つつじヶ丘支店	20,846,201	
	みずほ銀行 調布仙川支店	727,581	
2 未収金		821,900	
3 商品		933,771	
流動資産合計 (A)			23,329,453
2 固定資産			
1 基本財産			
投資有価証券	平成24年度兵庫県市町共同公募債	3,000,000	
2 その他固定資産			
リース資産	事業用PC, コピー機等	12,844,885	
固定資産合計 (B)			15,844,885
資産合計 (C) 《 (A) + (B) 》			39,174,338
<b>II 負債の部</b>			
1 流動負債			
1 未払費用			
	事業費支出51件	16,614,384	
	管理費支出20件	3,837,619	
2 預り金			
	住民税 3月分	32,200	
	社会保険料 3月分	264,971	
	市への返還金 補助金及び委託料等	1,328,937	
	市への返還金 ぐるっとパス	150,000	
3 リース債務			
	事業用PC, コピー機等	12,844,885	
流動負債合計			35,072,996
負債合計 (D)			35,072,996
正味財産合計 (E) 《 (C) - (D) 》			4,101,342

平成25年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館  
財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 会計方針

「公益法人会計基準」(平成20年12月1日 内閣府公益認定等委員会)を採用している。

(2) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券償却原価法によっている。

(3) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

先入先出法による原価法によっている。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式によっている。

# 監査報告書

平成26年4月25日

一般財団法人調布市武者小路実篤記念館  
理事長 福田 宏 様

一般財団法人 調布市武者小路実篤館記念館

監事 新井 七 吾

監事 小柳 栄

私たちは、一般財団法人調布市武者小路実篤記念館定款第26条及び関連法令に基づき、平成25年4月1日から平成26年3月31日までの平成25年度における業務監査及び会計監査を行い、次のとおり報告する。

## 1 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、会計帳簿及び関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて、財務諸表などの適正性を確認した。
- (2) 業務監査について、理事会等に出席し、運営状況を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて、業務執行の妥当性を確認した。

## 2 監査意見

- (1) 事業報告は妥当であり貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録は、一般に公正妥当と認められる公益法人会計基準及び関係法令並びに、一般財団法人調布市武者小路実篤記念館定款及び会計規程に従い、法人の財産及び収支の状況を正しく表示しているものと認める。
- (2) 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

(注) 上記は、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当財団が別途保管しております。

## 平成26年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館事業計画

### 1 基本方針

調布市武者小路実篤記念館（以下「実篤記念館」という。）は、昭和51年4月に武者小路実篤の死去後、武者小路家より寄贈された愛蔵の美術品、遺品、図書等をもとに、文学、美術、演劇、思想など幅広い分野にわたり活躍した武者小路実篤の生涯をしのぶとともに、「武者小路実篤の業績を顕彰し、広く市民の教養、文化の向上に寄与するため」という設立理念を掲げ、武者小路実篤生誕100年に当たる年に、調布市実篤公園（旧実篤邸を含む。以下「実篤公園」という。）に隣接して、昭和60年10月に開館しました。

平成4年1月には、一般財団法人調布市武者小路実篤記念館の前身である調布市武者小路実篤記念館運営事業団（以下「事業団」という。）が、実篤記念館の設立理念に基づき、事業の円滑化、効率化及び継続性を図るために設立されました。

そして、事業団のこれまでの実績と信頼を活かしながら、より安定性及び継続性のある効率的な組織・運営体制を構築するとともに、市民が広く誇り得る文化の拠点の一つとなるよう、身近で、親しみのある教育、芸術・文化の場として更に良質で魅力ある事業を展開するために、平成25年4月1日、「一般財団法人調布市武者小路実篤記念館」（以下「財団」という。）を設立しました。

平成26年度は、事業団が法人化され、財団として1年が経過しました。そして、これまで調布市が担ってきた施設の管理運営と、当財団が担ってきた事業運営を一体的に担う指定管理者制度が導入され、当財団が指定管理者となり、新しい事業展開のスタートを切ります。

また、実篤公園の日常管理を調布市緑と公園課より受託し、利用者への対応や施設の日常管理を通じて、実篤記念館と実篤公園を効率的かつ柔軟な対応により、更にサービスの向上を図って参ります。

財団は、行政を補完する公益的な法人としての責務を果たし、より安定性及び継続性のある効率的な組織運営体制を図るために、次のとおり事業目標を設定するとともに、組織・運営体制を定めて積極的に事業展開をして参ります。

#### ＜事業目標＞

##### 1 武者小路実篤の顕彰

年8回の展示事業と移動展、武者小路実篤及び周辺資料の積極的な収集、整理、保存及び調査研究を継続的に実施します。

##### 2 実篤記念館のブランド化（日本で唯一の実篤研究の情報収集発信基地）

武者小路実篤の顕彰をベースに、「情報収集発信基地」として機能を充実させ、内外に情報発信できる日本で唯一の「実篤・白樺・新しき村の研究施設」を目指します。

##### 3 次代を担う子どもへのアプローチと利用の拡大

子どもへの積極的な働きかけにより、未来の来館者の育成と郷土愛を育む取組を実施します。

##### 4 実篤記念館と実篤公園を活用した事業展開

実篤記念館及び実篤公園について、より効率的で柔軟な運営体制の構築を目指し、実篤公園を活用した新たな事業展開など、更なる市民サービスの向上を図ります。

### <組織・運営体制>

- 1 安定した組織づくり並びに組織の透明性及び信頼性を図るとともに、効率的で効果的な運営に努めます。
- 2 実篤記念館が目指す将来像（事業目標）を実現するための事業を、継続性をもって実行します。
- 3 武者小路実篤研究を継続していくために、学芸員を中心とした人材育成を促進します。
- 4 財団としての自主性を発揮し、事業の幅と奥行きを広げ、良質な市民サービスを提供します。

## 2 指定管理者としての基本方針

当財団が、実篤記念館の指定管理者として、施設の管理運営と事業運営を一体的に担っていく初年度となります。

これまで財団が培ってきた経験と実績、信頼を最大限に発揮し、実篤記念館の設立理念を効果的に達成していくため、魅力ある事業展開と施設の機能を十分活かした運営を行うとともに、利用者が快適に安心して利用できる施設であるように、指定管理業務を実施して参ります。

実篤記念館の管理運営においては、利用者ニーズを的確に把握し、専門性を活かしたサービスを提供し、高い満足度を得ることでリピーター及び新規利用者の獲得につなげるとともに、職員のスキル向上を図り、安心して利用できる施設として、利用料金をはじめとする事業収入の安定確保に努めてまいります。また、利用者へのサービスと事業の質を低下させることなく、効率的・効果的な事業運営を行うことで、経費の抑制に努めて参ります。

当財団は、公益事業を行うことを目的として設立され、市の監理団体でもあることから、指定管理者として実篤記念館を運営するに当たり、経営努力により生み出された費用を、実篤記念館の展示事業をはじめとする基幹事業に活用して、市民及び利用者還元し、満足度を更に高めて参ります。

## 3 実施方針

### (1) 事業の運営に関する業務

当財団では、実篤記念館を拠点として、「武者小路実篤の業績を顕彰し、広く市民の教養、文化の向上に寄与する」という設置目的を達成し、また、市民の誇れる文化施設、地域の魅力向上に貢献するために、「武者小路実篤を核とした特色ある事業」を展開し、利用の促進を図ります。

武者小路実篤の文学、美術、演劇、新しき村と幅広い分野にわたる活動、日本近代文学・美術を代表する作家や画家たちとの交流など、多面的な魅力を存分に発揮するように様々な事業を企画し、子どもから高齢者まで幅広い年代層と実篤を初めて知る方から専門家まで、多様な興味・関心を持つ利用者に満足していただくような事業を展開して参ります。

また、貴重な財産を後世に継承するために、事業の根幹となる資料収集と、収集した貴重な資料を良好な状態で管理するために不可欠な整理・保存事業を進めるとともに、収蔵品データベースの充実を図り、広く資料情報の公開に努めます。

さらに、調査・研究事業では、武者小路実篤の顕彰をベースに、「情報収集発信基地」としての機能を充実させ、内外に情報発信できる日本で唯一の「実篤・白樺・新しき村の研究施設」を目指します。

このように、事業全般にわたり「敷居は低く（気軽に参加）、間口は広く（幅広いジャンルからのアプローチ）、奥行きは深く（専門的な内容にも対応）」を指針として、「何度でも来たくなる実篤記念館」を目指し、リピーターの獲得と積極的な広報活動により新規利用者の開拓を常に図り、良質な事業の提供に取り組んで参ります。

これらは、当財団が培ってきた専門的な経験と実績のほか、武者小路家をはじめとした関係者（機関）の信頼と協力をもとに進めることができ、今後も各方面から当財団に寄せられる信頼に応えるように事業運営をして参ります。

## (2) 施設の運営に関する業務

武者小路実篤記念館の運営に当たっては、地方自治法、調布市武者小路実篤記念館条例及び調布市武者小路実篤記念館条例施行規則等の法令を遵守し、合理的かつ効果的な運営を行って参ります。

実篤記念館が「公共の施設」であり、芸術鑑賞施設であることを踏まえ、当財団は、前身の運営事業団発足以来、20年余り実篤記念館の事業運営を行ってきた経験と実績を活かし、高齢者、障害のある方及び子どもが安全で安心して快適に利用し、利用者が公平かつ平等に利用できるように努めます。

常に利用者の立場に立ち、要望に応える利用案内、相談等に積極的に取り組み、誠意ある応対を行うことでサービスの向上に努め、利用率の向上を図ります。

また、アンケート等により利用者のニーズを把握するとともに、的確な対応を図り、事業や施設の管理運営、利用者満足度アップや利用促進に反映して参ります。

## (3) 施設の管理と整備に関する業務

実篤記念館は、芸術鑑賞施設であることから、子どもから高齢者まで様々な利用者が訪れるため、安全かつ快適で、環境に配慮した施設管理運営に取り組み、施設機能を十分に発揮し、事業活動が円滑に展開できる環境作りを行います。

実篤記念館の維持管理業務にあたっては、施設の維持保全、人命の尊重に十分注意を払い、仕様書に示された水準に従い、安全・快適・清潔な施設の維持管理を行います。

当財団は、これまで施設維持管理業務に協力を行ってきた経験と実績を踏まえ、実篤記念館の設置目的の実現に向け、職員は施設や設備を深く理解するとともに、空調や電気設備など専門的な事業者をはじめ施設を維持管理するための委託業者とコミュニケーションを図り、連携して施設の維持管理の課題に取り組めます。

平成26年度より新たに実篤公園の日常管理を市の緑と公園課より受託します。実篤公園は国分寺崖線にあり、湧水と武蔵野の自然を残し、旧実篤邸は実篤が実際に生活していた場として、多くの利用者が関心を持つ施設です。実篤記念館は、実篤公園と旧実篤邸の存在が相乗し合い、より一層の魅力を高めていきます。

また、実篤記念館の施設・設備については、本館が昭和60年の開館から29年、平成6年に資料館が増築されてからも20年が経過し、施設・設備の経年劣化による課題も生じています。このため、利用者の安全性、快適性、さらに所蔵している武者小路実篤関連の資料・作品を、永く後世に伝えていくための展示活動及び保存環境の確保を推進し、利用者が良好

な状態で鑑賞できるよう、中長期的な修繕計画について市に提案して参ります。

#### (4) 職員の人材育成

##### ア 専門性の向上

各種事業がより一層魅力あるものになり、子どもからお年寄りまで多くの利用者から喜ばれるよう、専門研修の受講や近隣他館の視察などをおして、学芸員の質の向上を目指します。

##### イ 知識・能力の承継

ベテラン職員の長年の事業経験から培われた豊富な知識や能力を若い職員が承継でき、展覧会の企画や講座の充実が図れるよう、OJTを充実させていきます。

##### ウ マネジメント能力の育成

指定管理者制度の導入に伴い、法人経営、人事、契約、予算執行など、マネジメント能力の向上が求められています。公共施設を運営するための公平性と透明性を維持しながら、最小の経費で最大の効果が得られるよう、専門研修の受講をはじめOJTを充実させていきます。

##### エ 危機管理能力の向上

利用者の安全を第一に考え、緊急時に迅速な対応が図れるよう訓練するとともに、実篤記念館が所蔵する貴重な美術品や資料を守るために、地域の課題である水害対策には万全の対策と対応が図れるよう日常的に訓練を行います。

## 4 事業内容

### (1) 展示事業

文学・美術・演劇・思想と幅広い武者小路実篤の活動を、実篤記念館では年間を通じて常設展示とせず、幅広い武者小路実篤の活動が分かりやすく理解されるよう多角的に紹介し、また、館外においても移動展を開催するなど、魅力ある展示事業を目指します。

(単位：千円)

No.	事業名	事業内容	予算額
1	展示事業 (指定管理事業)	<p><b>【対象】</b> 市民</p> <p><b>【事業概要】</b> 幅広い武者小路実篤の活動を紹介していくために多角的なテーマを設け、実篤記念館の充実した収蔵品を紹介し、いつでも新しい発見がある展示作りを目指す。 関係機関、協力者等との協力を深めながら、年2回の特別展と6回の企画展等を開催する。</p> <p><b>【平成26年度予定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・春の特別展「美の宝庫」 ～油井コレクションにみる実篤作品～</li> <li>・秋の特別展「父・実篤の周辺で」</li> <li>・企画展 6回</li> </ul>	4,044

	・移動展 調布市文化会館たづくり展示室 *詳細は37～40頁のとおり
--	---------------------------------------

(2) 普及事業

普及事業を通して武者小路実篤についてより理解を深め、身近で、親しみのある教育、芸術・文化の場、「地域の人々が気軽に学ぶ場」を提供して参ります。

また、市民の誇りとなるような「武者小路実篤を核とした特色ある事業」を積極的に展開します。

(単位：千円)

No.	事業名	事業内容	予算額
1	講演会・講座等事業 (指定管理事業)	<p><b>【対象】</b> 市民</p> <p><b>【事業概要】</b> 講演会をはじめ各種講座を開催し、「武者小路実篤を核とした特色ある事業」として、幅広い世代に対し良質な普及事業を提供し、身近で、親しみのある教育、芸術・文化の場、また市民の誇りとなるような事業を展開する。</p> <p><b>【平成26年度予定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・武者小路実篤やその活動をテーマとした記念講演会を開催する。(1回)</li> <li>・好評の読書講座、自然観察会、美術講座等を開催する。(10講座)</li> <li>・アンケート調査の実施により、受講者の開拓、事業内容の充実を図る。(通年)</li> <li>・桐朋学園、東部公民館等の地域施設や地元仙川商店街等地域と連携した事業に取り組む。(通年)</li> <li>・展覧会ごとに展示解説を開催する。(9回)</li> <li>・文学散歩等のサークル活動、団体利用者に対する解説を実施する。(通年)</li> <li>・他機関の事業活動に協力し、講師を務めるなどの機会をとおして実篤や記念館事業の普及に努める。(通年)</li> <li>・文学作品をテーマとした鑑賞のための映像作品を制作し、映像視聴システム等で上映する。(通年)</li> </ul>	1,215
2	学校教育との連携事業 (指定管理事業)	<p><b>【対象】</b> 市内小中学校及び高等学校</p> <p><b>【事業概要】</b> 実篤記念館が持つ文学、美術、自然、情報等の様々な要素を活用して、小・中学生を対象とした「調べ学習」、「創作」、「芸術鑑賞」を中心としたキッズプログラムの</p>	821



		<p>充実に取り組み、武者小路実篤や実篤記念館に親しむ機会を増やし、様々な広報を通して、身近にある教育・文化施設としての認知度を高め、利用促進を図る。</p> <p>事業を通して、子どもたちに多様な体験の場を提供し、幼い頃から芸術・文化に触れることにより、子どもたちが感性を磨き、自身で考える力、豊かな心を育成できるように努める。</p> <p><b>【平成26年度予定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子供向け解説シートを作成し、配布する。（新規3シート）</li> <li>・夏休み講座を充実させ、親子参加事業を開催する。（9講座）</li> <li>・「調べ学習」、「創作」、「芸術鑑賞」等のキッズプログラムを充実する。（通年）</li> <li>・学校図書館へ、実篤関連資料や情報を提供する。（通年）</li> <li>・学校での出張展示や出前講座を実施する。（通年）</li> <li>・鑑賞教育、職場体験、訪問等の学校事業へ協力する。（通年）</li> </ul>	
3	ボランティア事業 (指定管理事業)	<p><b>【対象】</b> 市民</p> <p><b>【事業概要】</b> 市民、地域との連携を図る協力ボランティアの活動は、現在、幅広い普及活動を展開するうえで大きな力となっており、ともに地域の教養向上のために積極的に活動を進める。</p> <p><b>【平成26年度予定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・更に充実が望まれるガイドツアーのボランティア養成講座を開催する。（講座は6回）</li> <li>・ガイドツアーや歴史散歩等の普及事業を実施する。（通年）</li> <li>・普及事業、環境整備のサポート活動をする。（通年）</li> <li>・ボランティアの活動環境を整備する。（通年）</li> </ul>	214
4	友の会事業 (指定管理事業)	<p><b>【対象】</b> 市民</p> <p><b>【事業概要】</b> 友の会事業は、実篤記念館と来館者を結ぶものであり、会員の増強と一層の充実を努め、会員に関連情報を提供する友の会ニュースを定期的に発行する。</p> <p><b>【平成26年度予定】</b></p>	50

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・友の会ニュースを発行する（年6回）</li> <li>・会員の交流会を開催する。（2月）</li> </ul>	
5	広報事業 （指定管理事業）	(1) 広報資料の作成，配布 <b>【対象】</b> 市民 <b>【事業概要】</b> 実篤記念館事業について各方面に積極的な広報を実施し，財団の事業及び名称の認知度を高める。 <b>【平成26年度予定】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別展ポスター，チラシを作成し，配布する。 （年2回）</li> <li>・展示案内を作成し，配布する。（年1回）</li> <li>・企画展，講座等のミニポスター等を作成し，配布する。 （通年）</li> <li>・館報を編集し，配布する。（年2回）</li> <li>・市報等へ情報提供する。（通年）</li> <li>・報道機関への情報提供と各種取材への対応を行う。 （通年）</li> </ul>	1,691
		(2) 印刷物編集・刊行事業 <b>【対象】</b> 市民 <b>【事業概要】</b> 武者小路実篤の活動や所蔵資料を紹介する刊行物を編集・刊行し，広く武者小路実篤への理解を深める。 <b>【平成26年度予定】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別展パンフレットを編集し，刊行する。（年2回）</li> </ul>	1,300
		(3) ホームページ <b>【対象】</b> 市民 <b>【事業概要】</b> ホームページを運用することにより，広く武者小路実篤や実篤記念館事業を広報し，より多くの人に武者小路実篤の魅力や事業活動を周知し，認知度を高める。 <b>【平成26年度予定】</b> ホームページ内容の充実，更新情報の迅速化に取り組み，事業や実篤関連情報，事業記録等を広く周知する。また，スマートフォンでの利用拡大に対応し，専門ページも開設する。さらに，調査・研究の成果を順次ホームページで公開する。	1,400

	<p>(4) ぐるっとパス事業</p> <p><b>【対象】</b> 市民</p> <p><b>【事業概要】</b> 「東京・ミュージアムぐるっとパス2014」事業を通して、実篤記念館の活動を周知し、広報の充実に取り組む。</p> <p><b>【平成26年度予定】</b> 東京の美術館・博物館等共通入館券実行委員会が主催する「東京・ミュージアムぐるっとパス2014」に参加し、展覧会や事業の広報、普及に努める。 (通年、ポスター・チラシ年2回発行)</p>	150
--	---	-----

(3) 資料収集・管理事業

所蔵資料の充実を図るための情報を集め、購入をはじめ収集に関わる業務を行い、また、美術品等の購入については市へ提案していくとともに、後世に貴重な作品・資料を伝えるための収蔵環境の把握に努め、所蔵資料が事業全般で活用できるように積極的に取り組みます。

(単位：千円)

No.	事業名	事業内容	予算額
1	資料収集・管理事業 (指定管理事業)	<p><b>【対象】</b> 市民</p> <p><b>【事業概要】</b> 収集事業では、実篤記念館が事業の充実を図るため、必要に応じて関係資料を収集しており、財団は収集に関する各種情報を集め収集業務を行う。また、美術品等の購入については市へ提案する。</p> <p>管理事業では、「調布市武者小路実篤記念館条例」「調布市武者小路実篤記念館条例施行規則」を遵守し、資料の貸出し及び特別撮影等の申請受付、承認を行う。</p> <p>また、日常的に収蔵環境を把握し、収蔵品保存環境の整備に努める。</p> <p><b>【平成26年度予定】</b> (1) 収集</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書画、原稿、書簡、図書、雑誌、写真、映像音声資料、その他関連資料の収集情報を集め、調布市へ提案する。</li> <li>・図書、雑誌の購入作業を行い、調布市へ報告する。</li> <li>・寄贈、寄託受入手続きを行い、調布市へ報告する。</li> </ul> <p>(いずれも通年)</p>	1,653

		<p>(2) 資料管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・貴重な作品，資料の保存環境を管理し，環境整備が必要な場合は，調布市へ提案する。（通年）</li> <li>・作品，資料の利用申請，承認手続き及び，貸出・返却にともなう作業を行う。（通年）</li> <li>・作品・資料の特別撮影の対応を行う。（通年）</li> </ul>	
--	--	--	--

(4) 資料整理・保存事業

収集した資料を整理し，データベースへの入力作業，後世に貴重な作品・資料を伝えるための保存作業に努め，事業全般で活用できるように積極的に取り組みます。

(単位：千円)

No.	事業名	事業内容	予算額
1	整理・保存事業 (指定管理事業)	<p><b>【対象】</b> 市民</p> <p><b>【事業概要】</b> 整理・保存事業では，収集された作品・資料を速やかに整理し，収蔵品データベースへの入力作業を進める。 また，収蔵品を良好な状態で保存し，後世に貴重な作品・資料を伝えるように努め，収蔵品をより活用できるように積極的に取り組む。</p> <p><b>【平成26年度予定】</b></p> <p>(1) 整理・保存</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・収蔵資料を整理し，状態把握に努め，良好に保存する。（通年）</li> <li>・収蔵品や関連資料の記録撮影，写真パネル等を整備する。（通年）</li> </ul> <p>(2) 所蔵作品・資料等の修復，複製制作等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・所蔵品資料の適切な保存管理を図るため，資料状態の把握と計画的な修復作業を実施する。（通年）</li> <li>・貴重な実篤関連資料の複製を制作し，活用する。 (1作品制作)</li> </ul> <p>(3) 収蔵品データベースの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実篤記念館が収蔵する作品・資料，武者小路実篤に関する情報の入力作業を進め，収蔵品データの充実に努めるとともに，展覧会，レファレンス業務，調査研究等に活用する。（通年）</li> <li>・未整理収蔵資料をデータ化し，収蔵品情報の充実に努める。（通年）</li> </ul>	1,704

(5) 閲覧サービス・情報公開事業

収蔵資料の閲覧及び武者小路実篤に関する問合せに対して、調査回答するレファレンスサービスを推進し、情報提供システムを活用して、所蔵品や実篤に関する情報を広く公開して参ります。

(単位：千円)

No.	事業名	事業内容	予算額
1	閲覧サービス事業 (指定管理事業)	<p><b>【対象】</b> 市民</p> <p><b>【事業概要】</b> 武者小路実篤をはじめ、白樺、新しき村に関する資料や、近代文学・美術の図書を開架する閲覧室を中心として、多くの方に利用していただくように、資料の充実と活用の促進を図り、更に実篤関連情報に関するレファレンス業務・調査研究を行い、一層のサービス向上に努めます。</p> <p><b>【平成26年度予定】</b></p> <p>(1) 一般閲覧 ・閲覧室における、閲覧・レファレンス業務、開架図書の管理及び図書の紹介を行う（通年） ・展示室と閲覧室の休室が重なる日には、閲覧室を開室する。</p> <p>(2) 特別閲覧 ・閉架図書及び特別資料の閲覧、レファレンス業務を実施する。（通年）</p>	65
2	情報公開事業 (指定管理事業)	<p><b>【対象】</b> 市民</p> <p><b>【事業概要】</b> 実篤記念館が収集した作品、資料、文字、画像、映像、研究情報、記録データ等を活用し、これらを収録した情報提供システム（収蔵品データベース、情報閲覧システム、映像視聴システム、ホームページ）を運用し、多岐にわたる情報の公開に努め、利用の促進を図る。</p> <p><b>【平成26年度予定】</b> 新たに収集した作品、資料、文字、画像、映像、研究情報、記録データ等の情報を、収蔵品データベースをはじめとした情報提供システムに追加・更新し、公開する。 平成25年にリニューアル作業を終えた情報提供システムを活用し、新たに導入されたタッチパネル方式やタブレットPCの利用を促進するなど、多くの情報を利用者がより分かりやすく手軽に利用できるように取り組む。</p>	4,323

(6) 調査・研究事業

広く開かれた「武者小路実篤、白樺、新しき村」の情報収集発信基地となるため、調査・研究に取り組み、その成果を事業全般に活用し、情報量と内容の充実を図ります。

(単位：千円)

No.	事業名	事業内容	予算額
1	調査・研究事業 (指定管理事業)	<p><b>【対象】</b> 市民</p> <p><b>【事業概要】</b> 「武者小路実篤、白樺、新しき村」に関する情報収集発信基地としての役割を担うべく、特別展関連及び収蔵資料の調査を実施する。</p> <p>他の文学館、美術館、研究機関等の協力を得ながら、調査・研究活動を進めることで、所蔵資料や関連資料の新たな情報を得て、作品・資料の利用価値を高め、また、得た情報を事業に活用し、それらを順次公開する。</p> <p><b>【平成26年度予定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別展関連においては、武者小路家所蔵作品、資料の調査を実施する。(上半期)</li> <li>・移動展関連においては、河野家所蔵作品資料の調査を実施する。(上半期)</li> <li>・武者小路実篤の作品発表に関する情報収集、記録、作品リストの充実を図る。(通年)</li> <li>・他の機関の研究・事業活動に協力する。(通年)</li> <li>・これまでの調査、研究成果をホームページで順次公開する。(通年)</li> </ul>	100

(7) 自主事業

自主事業の中心となるミュージアムグッズの販売を行い、自主財源を増やして普及事業を充実するとともに、武者小路実篤や実篤記念館の認知度アップを図って参ります。

市からの受託事業以外に自主財源を増やし、自主事業に取り組み、より充実した事業を展開します。

(単位：千円)

No.	事業名	事業内容	予算額
1	物品販売事業 (自主事業)	<p><b>【対象】</b> 市民</p> <p><b>【事業概要】</b> ミュージアムグッズ販売事業は、自主財源を増やすとともに、その収益を自主事業(朗読会、講座など)の充実や、魅力あるミュージアムグッズ作りに充て、普及事業の更な</p>	3,441

		<p>る充実を図る。</p> <p>また、販売事業を通して、広く武者小路実篤や記念館事業を広報し、より多くの人に武者小路実篤や実篤記念館を周知し、認知度を高める。</p> <p><b>【平成26年度予定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ミュージアムグッズの販売を促進する。</li> <li>・魅力あるミュージアムグッズを開発する。</li> <li>・販売事業を通して、実篤、記念館の認知度を高める。</li> </ul>	
2	自主事業 (自主事業)	<p><b>【対象】</b> 市民</p> <p><b>【事業概要】</b> 調布市の受託事業以外に自主財源を増やし、事業の充実を図るために、自主事業に取り組む。</p> <p><b>【平成26年度予定】</b></p> <p>(1) 広告料の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・案内看板下部の広告により、自主財源の確保を図る。(通年)</li> </ul> <p>(2) 自主事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・充実が望まれる講座については、講師料等の応益負担により実施する。(通年)</li> <li>・朗読会を開催する。(年1回)</li> <li>・観梅会を開催する。(年1回, 2月)</li> </ul>	450

(8) 施設管理運営事業

実篤記念館は「公共の施設」であり、芸術鑑賞施設であることを踏まえ、利用者の公平、平等性を確保するとともに、実篤記念館の設置目的に基づいた適切な運営に努めます。

施設維持管理については、施設の維持保全、人命の尊重に十分注意を払い、安全・快適・清潔な施設の維持管理を行います。

また、実篤公園および旧実篤邸の日常管理業務を行い、実篤記念館、実篤公園をあわせて管理することで、利用者がより快適に利用できるように努めます。

(単位：千円)

No.	事業名	事業内容	予算額
1	実篤記念館施設 管理運営業務 (指定管理業)	<p><b>【対象】</b> 市民</p> <p><b>【事業概要】</b> 調布市武者小路実篤記念館条例及び、同条例施行規則に基づいて、利用者が公平かつ平等に利用できるように努める。</p> <p>また、利用者の立場に立ち、安全かつ快適に利用しやす</p>	9,197

		<p>いように適切に管理する。</p> <p>施設・設備の経年劣化による不具合も発生しているため、利用者の安全性、快適性、さらに所蔵している武者小路実篤関連の資料・作品を、永く後世に伝えて行くための展示活動及び資料の保存環境を確保し、利用者が良好な状態で鑑賞できるよう、中長期的な修繕計画について市に提案する。</p> <p><b>【平成26年度予定】</b></p> <p>電気、空調設備等の施設及びこれに付帯する設備の操作、保守点検業務、維持管理保全や清掃、警備、施設設備の軽微な補修、施設運営の維持経費である公共料金の支払いを行う。(通年)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・収蔵環境を把握するため、館内の環境調査を実施する。(年2回)</li> </ul>	
2	<p>実篤公園日常管理業務 (受託事業)</p>	<p><b>【対象】</b> 市民</p> <p><b>【事業概要】</b></p> <p>実篤公園は国分寺崖線にあり、湧水と武蔵野の自然を残し、旧実篤邸は実篤が実際に生活していた場として、多くの利用者が関心を持つ施設である。実篤記念館は、実篤公園と旧実篤邸の存在が相乗し合い、より一層の魅力を高める。</p> <p>実篤公園および園内の旧実篤邸の日常管理を行い、利用者の立場に立ち、安全かつ快適に利用しやすいように適切に管理する。</p> <p>また、自然の保全、公園施設の補修、旧実篤邸の保存について、対応が必要な場合は緑と公園課へ提案する。</p> <p><b>【平成26年度予定】</b></p> <p>実篤公園の日常管理及び旧実篤邸の公開業務のほか、維持管理保全のため清掃、警備を行う。(通年)</p>	5,566



## <展覧会概要>

### ◎春の特別展「美の宝庫」～油井コレクションにみる実篤作品～

会期：平成26年4月26日（土）～6月8日（日）

画商として、また『美術年鑑』の主宰者として知られる故・油井一二（いちじ）氏は、昭和26年頃に武者小路実篤と出会い、以来実篤に感化され、人生の師として敬慕しました。

500点以上の実篤作品を扱ったという油井氏ですが、手放せないでいるものもありました。例えば、商売で大きな失敗をした氏を勇気づけた「…七を七十倍した程倒れても なお汝は 起き上らねばならぬ」との画讃を添えた達磨の絵や、画商として生きよという暗示を与えられたように感じたという「この道」の絵など、生きる上で大きな示唆を得た作品が手元に残りました。そうした作品の大半が、佐久市立近代美術館に寄贈されています。

本展覧会では、単なる画商と画家、買い手と描き手といった関係にとどまらない、油井氏と実篤の交流に焦点を当てながら、氏にとって思い入れの深い実篤作品をご紹介します。当館において油井コレクションは初めての展示となります。

### ◎企画展「この道を歩く」～詩と言葉～

会期：平成26年6月14日（土）～7月13日（日）

実篤は「言葉に羽の生えると詩になる」と言います。彼の詩は、普遍的な事柄がわかりやすい言葉で書かれ、親しみやすく、そこには人を元気にさせる、前向きな実篤の姿勢が表れています。

また、実篤の書や画の画讃は、彼の好きな言葉や、自身の詩や短い言葉を、味わいのある独特な線で書いています。

実篤の詩と言葉、書画を通して、彼の思いを知る機会とします。

### ◎夏休み企画「もっと知りたい 武者小路実篤」

会期：平成26年7月19日（土）～9月7日（日）

「友情」「愛と死」「人生論」、様々な美術論をはじめとした執筆活動、独特の作風で親しまれている書画の制作や美術コレクション、新しき村の運動と多彩な活動をした武者小路実篤の90年の生涯を、夏休みの小・中学生にもわかりやすい解説をご紹介します。

また、夏休みの子供たちを対象に、絵本作り、画を筆と墨を使い描く「実篤に挑戦!」、自由研究サポートなどさまざまな関連行事も開催します。

### ◎秋季展「美術遍歴」

会期：平成26年9月13日（土）～10月26日（日）

実篤は古今東西の美術に親しみ、その作品から作家の心に触れることに喜びを感じ、また、自らも多くの美術品を収集していました。

当館で所蔵する、古美術を中心とした200点余りの実篤の愛蔵品の中から主に彫刻や陶磁器、中国の俑などを中心に展示し、愛蔵品を描いた実篤の画、また、彼の愛蔵品への思いをご紹介します。

### ◎秋の特別展「父・実篤の周辺で」

会期：平成 26 年 11 月 1 日（土）～12 月 7 日（日）

実篤は、「幸福な家族」「暁」など、＜家族＞を描いた小説を多く手掛け、また自伝や随筆の中でもしばしば自らの家族の事に触れています。実生活で父として子供たちの成長を見守る実篤が、その時々を象徴するかのように家族の物語を描き、彼の小説の世界が広がっていきます。

また、三女・武者小路辰子から見た実篤の素顔を書き綴った著作『ほくろの呼び鈴』『父・実篤の周辺で』があります。

実篤と家族との係わりをご紹介します。実篤の素顔、家庭人・父としての姿を、著作、家族へあてた書簡、安子夫人の家族の様子を描いたスケッチなどを通して多角的に、実篤の「家族」に対する思いを探ります。

### ◎企画展「わき出づる泉」～実篤の出版活動～

会期：平成 26 年 12 月 20 日（土）～平成 27 年 1 月 25 日（日）

実篤が生み出した文学作品は約 7,000 点。明治 43 年の『白樺』創刊以来、ほぼ切れ目なく主宰雑誌を持ち、出版依頼が途切れれば自ら主体となって出版社を興してでも執筆を続け、まさに生涯を通じて、何かを書かずにはいられなかった、その行動力を展覧します。

### ◎企画展「筆蹟に見る個性」～実篤の交友～

会期：平成 27 年 1 月 31 日（土）～3 月 1 日（日）

「字をかく時は一心そのものになることを僕は何となく心がけることにしている」と書く実篤。また、書作品以外の原稿や手紙など様々な資料からも人それぞれの筆跡を知ることができます。

所蔵する作品、資料を通して、実篤や交流のあった人々の筆跡をご紹介します。そこから滲み出る作風や人から、思い、実篤との交流を知る機会とします。

### ◎春季展「野菜の美」

会期：平成 27 年 3 月 7 日（土）～4 月 12 日（日）

実篤は、40歳を過ぎてから絵筆をとり、野菜や花、自然の美しさを描き、独特な画風で広く親しまれました。

毎日、絵筆をとる喜びと、自然の不思議さ、美しさに感動し、新鮮な生命力を感じ、一筆一筆心を込めてその美しさを描きたいと願った実篤。彼が描き続けた「野菜」をモチーフとした数々の作品をご紹介します。彼の求めた美の世界を探ります。

## ◆移動展 「河野通勢～その描写と想像の世界～」

(於：調布市文化会館たづくり展示室)

会期：平成26年10月4日(土)～11月9日(日)

大正期を代表する画家、河野通勢(このみちせい・1895-1950年)は、大正3年(1914年)に19歳で二科展に初入選、その後、岸田劉生、木村莊八、椿貞雄らの草土社に参加して活躍し、その細密な描写とデッサン力は多くの人を魅了し、「大正の鬼才」として語られます。さらに、大正期後半以降、挿絵を描きはじめ、長与善郎「項羽と劉邦」、武者小路実篤「井原西鶴」などで、挿絵の世界でも一時代を築きました。

本展覧会は、武者小路と深い交流のあった画家である河野通勢が、若き日に育った長野市の裾花川周辺を画の教室として、自然と対峙しながら描き続けたデッサン群や、ハリスト正教会の信者として聖書を題材にして描いた祈りの美、数々の油彩画、そして、挿絵の世界と、河野の描写力とイマジネーションから生み出された数多くの作品群を通して、河野通勢の画業を展覧する機会とします。

### <平成26年度 休館日>

平成26年

4月7, 14, 21, 28日

5月7, 12, 19, 26日

6月2, 9, 16, 23, 30日

7月7, 14, 22, 28日

8月4, 11, 18, 25日

9月1, 8, 16, 22, 29日

10月6, 14, 20, 27日

11月4, 10, 17, 25日

12月1, 8, 15, 22, 29, 30, 31日

平成27年

1月1, 2, 3, 5, 13, 19, 26日

2月2, 9, 16, 23日

3月2, 9, 16, 23, 30日

### <平成26年度 展示室休室日>

平成26年

4月15, 16, 17, 18, 19, 20, 22, 23, 24, 25日

6月10, 11, 12, 13日

7月15, 16, 17, 18日

9月9, 10, 11, 12日

10月28, 29, 30, 31日

12月9, 10, 11, 12, 13, 14, 16, 17, 18, 19日

平成27年

1月27, 28, 29, 30日

3月3, 4, 5, 6日

<平成26年度 閲覧室休室日>

平成26年

4月3, 10, 30日

5月1, 8, 15, 22, 28, 29日

6月5, 19, 25, 26日

7月3, 10, 24, 30, 31日

8月7, 14, 21, 27, 28日

9月4, 18, 24, 25日

10月2, 9, 16, 23日

11月6, 13, 20, 26, 27日

12月4, 25日

平成27年

1月8, 15, 22日

2月5, 12, 19, 25, 26日

3月12, 19, 25, 26日

<平成26年度 旧実篤邸公開日>

土・日曜日・祝日 11:00～15:00 (雨天の場合は中止)

平成26年

4月5, 6, 12, 13, 19, 20, 26, 27, 29日

5月3, 4, 5, 6, 10, 11, 17, 18, 24, 25, 31日

6月1, 7, 8, 14, 15, 21, 22, 28, 29日

7月5, 6, 12, 13, 19, 20, 21, 26, 27日

8月2, 3, 9, 10, 16, 17, 23, 24, 30, 31日

9月6, 7, 13, 14, 15, 20, 21, 23, 27, 28日

10月4, 5, 11, 12, 13, 18, 19, 25, 26日

11月1, 2, 3, 8, 9, 15, 16, 22, 23, 24, 29, 30日

12月6, 7, 13, 14, 20, 21, 23, 27, 28日

平成27年

1月4, 10, 11, 12, 17, 18, 24, 25, 31日

2月1, 7, 8, 11, 14, 15, 21, 22, 28日

3月1, 7, 8, 14, 15, 21, 22, 28, 29日

平成26年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館

収 支 予 算 書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(収入)

(単位：千円)

科 目		予算額	前年度予算額	増減	備 考
大	中				
1	基本財産運用収入	1	1	0	
	1 基本財産運用収入	1	1	0	
2	補助金収入	73,151	52,265	20,886	
	1 人件費	63,391	46,630	16,761	
	2 事務費	9,760	5,635	4,125	
3	指定管理料収入	24,744	0	24,744	
	1 指定管理料	24,744	0	24,744	
4	受託事業収入	5,566	24,887	△ 19,321	
	1 受託事業(実篤公園日常管理)	5,566	0	5,566	
	2 普及促進委託料	0	11,070	△ 11,070	
	3 運営委託料	0	13,817	△ 13,817	
5	利用料収入	1,350	0	1,350	
	1 利用料	1,250	0	1,250	
	2 頒布料	100	0	100	
6	諸収入	200	149	51	
	1 事業参加費	100	0	100	
	2 友の会会費	50	0	50	
	3 雑収入	50	149	△ 99	
7	自主事業収入	3,901	4,810	△ 909	
	1 独自事業収入	80	220	△ 140	
	2 物品販売事業収入	3,500	4,100	△ 600	
	3 雑収入	320	480	△ 160	
	4 預金利子	1	10	△ 9	
収入計 (A)		108,913	82,112	26,801	

(支出)

(単位：千円)

科 目		予算額	前年度予算額	増減	備 考
大	中				
1	管理費	73,151	52,265	20,886	
	1 人件費	63,391	46,630	16,761	
	2 事務費	9,760	5,635	4,125	
2	事業費	17,048	24,887	△ 7,839	
	1 普及促進事業費	11,021	11,070	△ 49	
	2 資料管理事業費	1,704	1,445	259	
	3 情報提供システム事業費	4,323	12,372	△ 8,049	
3	施設管理費	14,763	0	14,763	
	1 施設管理事業費	9,197	0	9,197	
	2 実篤公園管理事業費	5,566	0	5,566	
4	自主事業費	3,901	4,760	△ 859	
	1 積立金	10	10	0	

	2 物品販売事業	3,441	3,940	△ 499	
	3 自主事業費	450	810	△ 360	
5	予備費	50	50	0	
	1 予備費	50	50	0	
6	返還金	0	150	△ 150	
	1 返還金	0	150	△ 150	
	支出計 (B)	108,913	82,112	26,801	
	収支差額 (C) 《 (A) - (B) 》	0	0	0	